

2010
7/14 (水) 毎日新聞

「税のプロ」最後の正念場

菅直人首相が内閣改造を当面凍結したのに伴い、今期で参院議員を引退する峰崎直樹副財務相＝写真＝も「民間人副大臣」として続投することになった。6月初めに鳩山由紀夫内閣が総辞職した際、会見で「長い間お世話になりました」と退任



でこの任に従事します」と、照れくさそうな表情を見せた。

のあいさつをしていただけに、7月12日の会見では「改造があるま

霞が関 ウォッチャー

政府税制調査会を主査として実務面を取り仕切り、財務官僚も峰崎さんほど税にマニアックなまでに詳しい人は、民主党内にはいない」と一目置く存在。物議をかもした菅首相の消費税増税発言も「勇気のある、責任ある発言だ」と思っている

と全面的に支えた。省内では「今度の秋が、10年に1度の勝負の時。『税のプロ』峰崎さんの力が必要」と、参院選後の統投説もささやかれた。しかし、民主党は参院選で大敗。増税への慎重論が与党内で台頭し、今年度中としていた消費税を含む税制改革案の取りまとめ時期は先送りされる見通しになった。

「消費税問題は政治家にとって深刻な問題。今後の財政改革の行く末が案じられる」とこぼす一方、「何とか難局を打開したい」とも。後退を余儀なくされた消費税論議だが、内閣改造までの「延長戦」期間中に、巻き返しのチャンスを作るのか。「税のプロ」は、最後の正念場を迎える。【久田宏】